

令和5年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））
分担研究報告書

研究課題名：国際生活機能分類に基づく実用的な生活機能評価項目セットの開発
研究代表者：向野 雅彦（北海道大学病院リハビリテーション科 教授）

研究要旨：

ICFの国内普及に向けた検討が進められているが、1600以上の項目から構成されるICFはもちろんのこと、抜粋版であるICD-11V章の“一般的機能の構成要素”と呼ばれる項目群でも44項目と多数の項目が存在し、臨床で一般に用いられているBarthel Index(項目数10)やFIM(Functional Independence Measure:項目数18)などの評価スケールよりも項目数が多く、臨床における実用可能性が課題である。

そこで、厚生労働科学研究費ICF研究班（地域包括ケアシステムにおいて活用可能な国際生活機能分類（ICF）による多領域にまたがる評価手法の確立に資する研究：令和2-4年度、代表者：大冢賀正昭、向野雅彦）において、リハビリテーション専門職に対するアンケートに基づいた項目セットライブラリの草案が作成されている。本研究ではさらにその実用性を高めるため、現在臨床でよく用いられている評価スケールとの比較を行い、項目セットのブラッシュアップを行うことに取り組んだ。ICD-11V章をベースとして作成した項目セットライブラリと臨床で使用頻度の高い評価スケール（FIM、Barthel Index、EQ5D、IADL尺度、FAI）を比較した結果、評価スケールの項目の一部はICD-11V章に独立した分類項目として含まれていないことが明らかとなった。そのため、Barthel IndexやFIMなどの評価スケールの項目を一部取り込む形で修正を実施した。今後さらに多数のリハビリテーション専門職によるブラッシュアッププロセスを経て、最終版を作成する予定である。

A. 研究目的

これまでに国内では、厚生労働省社会保障審議会生活機能分類専門委員会生活機能分類普及推進検討ワーキンググループにおけるコーディング支援ツールの作成などを通じ、ICD11V章およびICFの現場への導入に向けた準備が進められている。

しかし、1600以上の項目から構成されるICFはもちろんのこと、抜粋版であるICD-11V章の“一般的機能の構成要素”と呼ばれる項目群でも44項目と多数の項目が存在し、臨床で一般に用いられているBarthel Index(項目数10)やFIM(Functional Independence Measure:項目数18)などの評価スケールよりも項目数が多く、臨床における実用可能性が課題である。

そこで、厚生労働科学研究費ICF研究班(地域包括ケアシステムにおいて活用可能な国際生活機能分類(ICF)による多領域にまたがる評価手法の確立に資する研究:令和2-4年度、代表者:大冨賀正昭、向野雅彦)において、ICFのダイジェスト版であるICD-11V章の項目を使ってリハビリテーション専門職に対するアンケートを実施し、実際の生活における重要性の高い項目を検討した上で、その結果をもとに項目セットライブラリの草案が作成されている。本研究ではさらにその実用性を高めるため、現在臨床でよく用いられている評価スケールとの比較を行い、項目セットのブラッシュアップを行うことに取り組んだ。

B. 研究方法

本検討では、検討のために専門家パネル(医師2名、PT2名、OT2名)を設置し、これまでの項目セットライブラリ案と代表的な評価スケールと比較を行い、フィールドテスト実施に向けた項目セットライブラリ案のブラッシュアップを実施した。

C: 研究結果

ICD-11V章をベースとして作成した項目セットライブラリと臨床で使用頻度の高い評価スケール(FIM、Barthel Index、EQ5D、IADL尺度、FAI)との項目対応表を資料3に示す。評価スケールの項目の一部はICD-11V章に独立した分類項目として含まれていないことが明らかとなった。項目セットの名称(共通セット/最小評価セット/基本セット/拡張セット)が最小評価セットが最小でないなどわかりにくいとのフィードバックが

あった。また、比較に用いた指標は、比較的国内外の調査において使用される頻度の高いスケールであり、これらの一部または全部を含むことで統計上の比較可能性を高める可能性があることが指摘された。特にFIM、Barthel Index、EQ5Dについては多くの公的保険に用いる計画表、調査票等にも採用されている点を踏まえ、専門家パネルにおいて議論した結果、以下の点の修正を加えることとした。

- 1) 名称を最小セット/短縮セット/標準セット/拡張セットとする。
 - 2) 短縮版セットにBarthel Indexに含まれる項目を全て含むように修正。VW14 自宅内の移動はVW13およびVW15と重複するため除外。
 - 3) 標準セットにFIMに含まれる項目(一部の患者のみが対象となるd315 非言語的メッセージの理解 およびd335 非言語的メッセージの表出を除外)を含むように修正。またICF一般セットの6項目(7項目のうち就労可能年齢のみが対象となるd850報酬を伴う仕事を除いたもの)を含むように修正。
 - 4) 拡張セットにEQ5D、IADL尺度の項目を追加。
 - 5) ただし、ICD-11V章に含まれない項目についてはオプションにする。
- 修正した項目セットを資料4に示す。これらを次年度のフィールドテストで検証する予定とした。

D: 考察

実際に臨床で用いられている評価スケールは臨床におけ実際の情報ニーズを反映していると考えられ、臨床で重要となる生活機能情報の内容を検討するにあたって、重要性が高いと想定される。今回、現在臨床において頻繁に用いられている評価スケールがカバーしている内容について検討を行った。リハビリテーション専門職に対するアンケートをベースとした項目セットに加え、臨床スケールによって実際に臨床で収集されている情報を加えることで、より臨床で活用しやすい項目セットとなることが期待される。この項目セットについては、さらに多数のリハビリテーション専門職によるブラッシュアップのプロセスを追加する予定である。

E: 結論

本研究においては、ICF活用の実用を進めるべく、ICFの項目セットライブラリのブラッシュアップを行った。次年度は、さらに臨床現場のリハビリテーション専門職のフィードバック

クを受けた上で、より社会実装の推進に向けた取り組みを実施する予定である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

5. 論文発表
なし

6. 学会発表

Mukaino M, Umemori S, Komatsu M, Oikawa E, Yamada S. An Experimental Approach to Developing a Data Transfer Table from Existing Scales to the ICF. WHO-FIC Network Annual Meeting 2023, 16th-20th October, 2023, Bonn.

Mukaino M, Umemori S, Komatsu M, Oikawa E, Yamada S. Developing a Rating Reference Guide for the ICD-11 V Chapter and ICF: Japanese Experience. WHO-FIC Network Annual Meeting 2023, 16th-20th October, 2023, Bonn.

資料1 ICD-11V 章の実用的な項目セットと既存の臨床スケールとの ICD-11V 章/ICF に基づく対応表

	対応する ICF コード	最小	短縮版	標準版	拡張版	G-7	G-30	FIM	BI	EQ5D	IADL
VW00 活力及び欲動の機能	b130			○	○	○	○				
VW01 睡眠機能	b134		○	○	○		○				
VW02 注意機能	b140			○	○						
VW03 記憶機能	b144			○	○			○			
VW04 情動機能	b152		○	○	○	○	○				○
VW10 視覚及び関連機能	b210			○	○						
VW11 聴覚及び前庭の機能 (前庭覚)	b235			○	○						
VW11 聴覚及び前庭の機能 (聴覚)	b230				○						
VW12 痛みの感覚	b280		○	○	○	○	○				○
VW20 音声及び発話に関連する機能	b3				○						
VW30 運動耐容能	b455			○	○		○				
VW40 消化器系に関連する機能 (消化吸収・排便)	b515-b525	○	○	○				○	○		
VW40 消化器系に関連する機能 (摂食)	b510		○	○	○						
VW50 排尿機能	b620		○	○	○		○	○	○		
VW51 性機能	b640						○				
VW60 関節の可動性の機能	b710				○		○				
VW61 筋力の機能	b730		○	○	○		○				
VW70 皮膚及び関連する構造の機能	b8										
VW80 基礎的学習	d130-d159				○						
VW81 問題解決	d175			○	○			○			
VW90 日課の遂行	d230			○	○	○	○				
VW91 ストレス及びその他の心理的要求への対処	d240				○		○				
VW00 話し言葉の理解	d310				○			○			
VW01 会話	d350				○			(○)			
VW10 立位の保持	d4154				○		(○)				
VW11 乗り移り (移乗)	d420		○	○	○		○	○	○		
VW12 物の運搬、移動及び操作	d430-d449				○						
VW13-15 いずれかの移動	d450/d460/d465	○	○	○	○						
VW13 歩行 (屋外・悪路)	d450					○	○	○	○	○	
VW13 歩行 (屋内)	d450					○	○	○	○	○	
VW14 自宅内の移動	d460										
VW15 用具を用いての移動	d465						○	○	○		
VW16 交通機関・交通手段の利用	d470						○				○

VW20 自分の身体を洗うこと	d510		○	○	○		○	○	○	
VW21 身体各部の手入れ	d520		○	○	○		○	○	○	○
VW22 排泄	d530	○	○	○	○		○	○	○	
VW23 更衣	d540		○	○	○		○	○	○	○
VW24 食べること	d550	○	○	○	○		○	○	○	
VW25 健康に注意すること	d570				○		○			○
VW30 調理	d630									○
VW31 家事を行う	d640				○		○			○
VW32 他者への援助	d660						○			
VW40 基本的な対人関係	d710						○	○		
VW41 よく知らない人との関係	d730									
VW42 親密な関係	d770						○			
VW50 報酬を伴う仕事	d850						○	○		○
VW60 レクリエーション及びレジャー	d920						○			○
VW61 人権	d940									

↓対応コードが ICF のみに存在する項目

d315 非言語的メッセージの理解								○		
d330 話すこと								○		
d335 非言語的メッセージの表出								○		
d360 コミュニケーション用具および技法の利用 (d3600 遠隔通信用具の利用)										○
d410 基本的な姿勢の変換							○			
d420 姿勢の保持							○			
d451 階段昇降								○	○	
d455 移動						○	○			
d460 さまざまな場所での移動										
d620 物品とサービスの入手 (d6200 買い物)										○
d650 家庭用品の管理 (d6505 屋内外の植物の手入れ, d6501 住居と家具の手入れ, d6503 乗り物の手入れ)										○
d810-d839 教育										○
d870 経済的自給										○

最小版 短縮版 標準版 拡張版 G-7 G-30 FIM BI EQ5D IADL

最小版、短縮版、標準版、拡張版：ICD-11V 章をベースとした項目セットライブラリ案; G-7、G-30: ICF 一般セット 7 項目版および 30 項目版; FIM: Functional Independence Measure Index; EQ5D: Euroqual 5 Dimension; IADL: IADL 尺度 (Lawton&Brody) ; FAI: Frenchay Activities Index

資料 4 修正した項目セットライブラリ案

最小セット

VW13-15 いずれかの移動

短縮版評価セット

(活動 7+1、心身機能 6 項目)

活動

(VW13 歩行/VW14 自宅内での移動/VW15 用具を用いた移動)
VW22 排泄
VW24 食べること

VW11 乗り移り (移乗)
VW13/15 いずれかの移動
(VW13 歩行/ VW15 用具を用いた移動)
VW20 自分の身体を洗うこと
VW21 身体各部の手入れ
VW22 排泄
VW23 更衣
VW24 食べること
(+d451 階段昇降)

心身機能

VV01 睡眠機能
VV04 情動機能
VV40 消化器系に関連する機能 (摂食)
VV40 消化器系に関連する機能 (消化吸収・排便)
VV50 排尿機能
VV61 筋力の機能

資料4 修正した項目セットライブラリ案 (続き)

標準版評価セット (活動 9+2、心身機能 13 項目)	拡張版評価セット (活動 21+2、心身機能 16 項目)
活動	活動
VV81 問題解決	VV80 基礎的学習
VV90 日課の遂行	VV81 問題解決
VW00 話し言葉の理解	VV90 日課の遂行
VW11 乗り移り (移乗)	VV91 ストレス及びその他の心理的要求への対処
VW13/15 いずれかの移動 (VW13 歩行/VW15 用具を用いた移動)	VW00 話し言葉の理解
VW20 自分の身体を洗うこと	VW01 会話
VW21 身体各部の手入れ	VW11 乗り移り (移乗)
VW22 排泄	VW12 物の運搬、移動及び操作
VW23 更衣	VW13/15 いずれかの移動 (VW13 歩行/VW15 用具を用いた移動)
VW24 食べること	VW16 交通機関・交通手段の利用
VW40 基本的な対人関係 (+d330 話すこと) (+d451 階段昇降)	VW20 自分の身体を洗うこと
心身機能	VW21 身体各部の手入れ
VV00 活力及び欲動の機能	VW22 排泄
VV01 睡眠機能	VW23 更衣
VV02 注意機能	VW24 食べること
VV03 記憶機能	VW25 健康に注意すること
VV04 情動機能	VW30 調理
VV10 視覚及び関連機能	VW31 家事を行う
VV11 聴覚及び前庭の機能 (前庭覚)	VW40 基本的な対人関係
VV12 痛みの感覚	VW50 報酬を伴う仕事
VV30 運動耐容能	VW60 レクリエーションおよびレジャー (+d3600 遠隔通信用具の利用) (+d6200 買い物)
VV40 消化器系に関連する機能 (摂食)	心身機能
VV40 消化器系に関連する機能 (消化吸収・排便)	VV02 注意機能
VV50 排尿機能	VV03 記憶機能
VV61 筋力の機能	VV10 視覚及び関連機能
	VV11 聴覚及び前庭の機能 (聴覚)
	VV11 聴覚及び前庭の機能 (前庭覚)
	VV00 活力及び欲動の機能
	VV01 睡眠機能
	VV04 情動機能
	VV12 痛みの感覚
	VV20 音声及び発話に関連する機能
	VV30 運動耐容能
	VV40 消化器系に関連する機能 (摂食)
	VV40 消化器系に関連する機能 (消化吸収・排便)
	VV50 排尿機能
	VV60 関節の可動性の機能
	VV61 筋力の機能